

# 都市局 令和元年度 局運営方針

## 1. 主な現状と課題

国全体では本格的な人口減少社会を迎えている中、東京圏では流入超過等により人口が増加していますが、今後は全ての圏域で減少に転じることが見込まれています。本市においても、人口はいまだ増加傾向にありますが、将来的に減少に転じる見込みになっていることなどを踏まえ、将来の都市構造として、水とみどりに囲まれた集約・ネットワーク型都市構造の形成を目指しています。

一方、本市は首都圏広域地方計画において、東日本の玄関口機能を果たす役割と、首都直下地震の発災時には、首都圏の機能をバックアップするための最前線としての役割が位置づけられています。また、東日本各都市・各地域のヒト・モノ・情報が本市を介して相互に交流・連携し、新たな価値の創出を誘発する、東日本地方創生回廊とスーパー・メガリージョン<sup>\*</sup>の連結拠点として、東日本全体の発展を牽引していく役割が求められています。

本市において、スーパー・メガリージョンの成長を引き込み、自らも成長して、東日本の対流拠点としての役割を果たしていくには、中長期的な視点に立って、将来の成長基盤となるような取組を戦略的に展開し、拠点機能の充実・強化を図るとともに、これまで積み上げてきた既存ストックを活用した取組を着実に推進し、安全・安心、快適で魅力ある暮らしを確保していく必要があります。

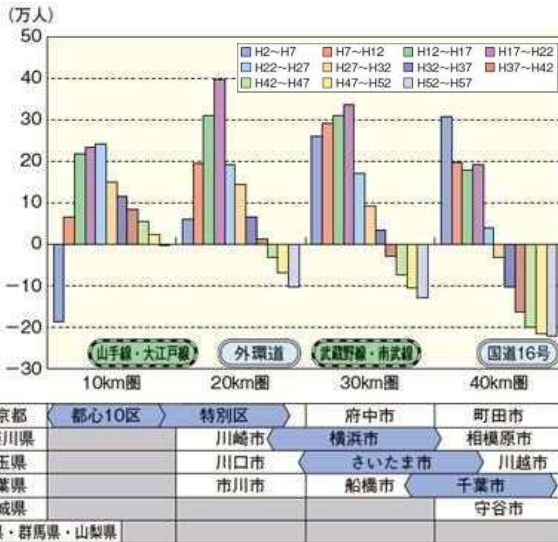
【人口移動の推移・対流の状況】



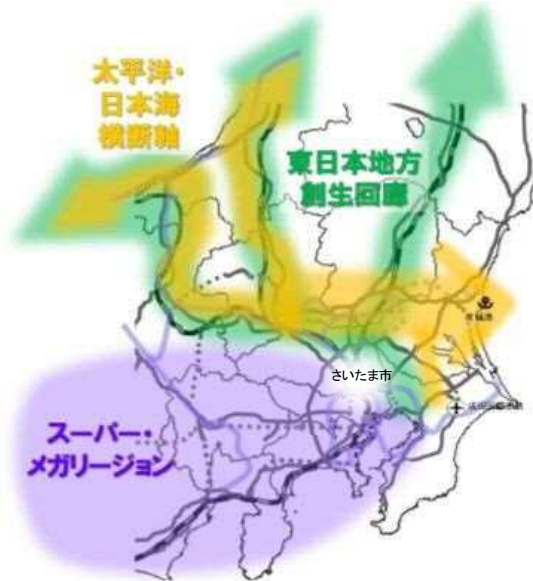
2017年	三大都市圏			地方中核都市	その他地方圏
	東京圏	名古屋圏	大阪圏		
転入	48.1万人	11.8万人	19.8万人	22.2万人	48.9万人
転出	36.2万人	12.2万人	20.7万人	20.5万人	61.2万人
純移動	12.0万人	▲0.5万人	▲0.9万人	1.8万人	▲12.3万人

資料:国土交通省スーパー・メガリージョン構想検討会

【距離圏別人口増減の推移】



【首都圏広域地方計画の広域連携プロジェクト】



<sup>\*</sup>スーパー・メガリージョン: 東京圏、名古屋圏、関西圏の3大都市圏がそれぞれの特色を發揮しつつ一体化し、世界からヒト、モノ、カネ、情報を引き付け、世界を先導する巨大経済圏

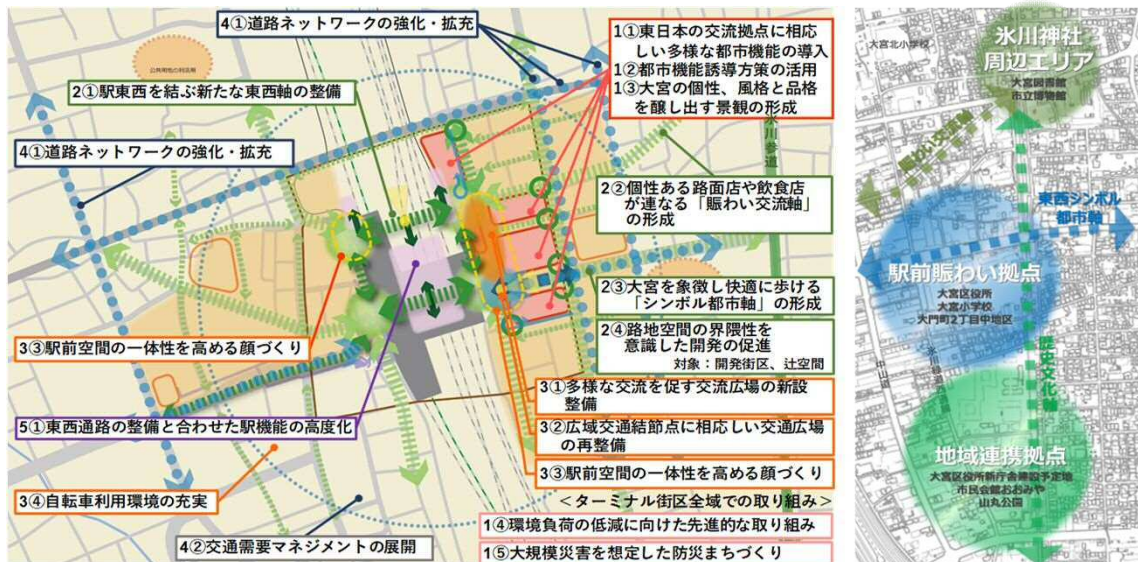
### (1) 都心における都市機能の充実・強化

本市は、首都圏広域地方計画において、首都圏と東北、上信越、北陸圏及び北海道の連携・融合だけでなくスーパー・メガリージョンの機能をより強化する対流拠点としての役割を果たすことが求められています。また、首都直下地震の発災時には首都圏の機能をバックアップするための最前線となることが位置づけられており、大宮駅周辺・さいたま新都心周辺地区・浦和駅周辺等の都心を中心にそれらの拠点機能の充実・強化が求められています。

これらの都心では、既に、商業・業務機能や行政機能等が集積されていますが、東日本の玄関口として、各都市との交流・連携を強化する拠点形成に向けて、鉄道駅及び駅周辺におけるポテンシャルをより一層生かしていく必要があります。そのため、駅機能の高度化、交通基盤整備、駅周辺街区のまちづくりを推進するとともに、公共施設再編による連鎖型まちづくり、市街地開発事業等を着実に推進することにより、防災性の向上と合わせ、交通機能、商業・業務機能、交流機能、回遊機能、街なか居住機能など多様な都市機能の充実や、賑わいの更なる創出を図っていくことが重要です。

【大宮駅グランドセントラルステーション化構想】  
取組内容の全体イメージ図

【公共施設再編による連鎖型まちづくりのイメージ図】



### (2) 魅力ある住環境の形成

岩槻地区や与野本町駅周辺地区等の古くから市街地が形成されてきた地域では、地域の活気・魅力の低下が懸念されています。また、美園地区等の都市基盤整備を行いながら拠点づくりを進めている地域では、早期の定住人口・交流人口の増加と土地活用の促進が課題となっています。

これらの課題に対応し、今後も良好で魅力ある住環境を維持・形成していくためには、従来のような都市基盤整備のみならず、今あるストックを効果的に活用し、地域の持つ様々な魅力や個性をより一層引き出すことが重要となります。

このような地域の特徴を生かしたまちづくりを推進していくため、市民、企業、大学、行政等の多様な主体が、魅力ある住環境の創造・形成に向けた認識を共有しつつ、それぞれの役割分担のもと連携・協働し、市街地の整備・改善及び施設ストックの活用により、地域の価値を向上させていくことが重要です。

### (3) 安全・安心の確保

本市で想定される災害リスクのうち、地震災害における災害リスクを評価すると、火災が発生し燃え広がる可能性がある延焼リスクと、倒壊する建築物が避難路をふさいだ場合などの避難困難リスクが重なり、重点的、優先的に対応することが必要な地区の存在が確認されています。そのため、リスクを継続的に把握し、市民や事業者に分かりやすく情報発信していくとともに、災害リスクが高い地区においては地区特性に合わせた具体施策を展開していく必要があります。

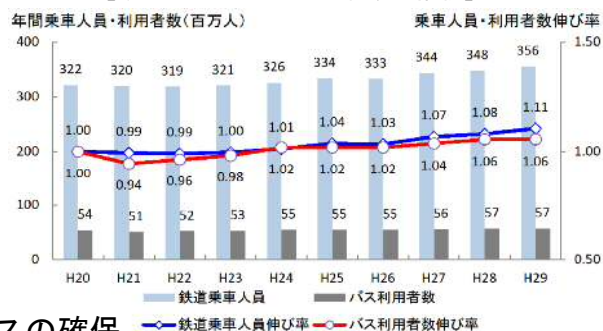
また、都市全体の防災性や安全性の向上を目指して、災害に強く有効な土地利用を支える都市基盤整備を進めていく必要があることから、土地区画整理事業等を効果的・効率的に推進していくことが重要となります。

### (4) 移動環境の向上

本市の鉄道・バスといった公共交通の利用者数は、増加傾向にありますが、将来的には、高齢者の自動車運転免許保有率の増加や私事目的の移動の増加等の影響により、公共交通利用が減少する一方、自動車利用が増加する可能性があります。

誰もが使いやすく移動しやすい交通環境を形成していくためには、まちづくりと連携した駅周辺の交通結節機能の強化、公共交通ネットワークの充実及び身近な交通手段である自転車の利用環境の向上等を図り、過度の自動車利用を抑制しつつ、多様な交通手段を確保していくことが重要です。

【鉄道・バスの年間利用者数の推移】



### (5) 「みどり」のオープンスペースの確保

本市の市街地は見沼田圃や荒川をはじめとした水とみどりに囲まれた都市構造になっており、河川やそれに沿って広がる緑地等は首都圏の環境インフラとして貴重な資産となっています。

「みどり」のオープンスペースは、憩いやレクリエーション、防災等、多様な機能を有しており、本市が目指す集約・ネットワーク型都市構造の実現に向けた社会資本として大変重要です。

見沼田圃やその周辺においては、地域資源を活用しながら、情報発信や散策拠点の整備に取り組むとともに、交流の場の創出や、市民が自然に親しみやすく広域的な防災機能も有する都市公園の整備などを進め、魅力ある空間を創出していくことが重要です。

また、市街地の身近な「みどり」は、貴重であり、良好な住環境形成に欠かせないものです。都市内に残された樹林地・農地の保全・活用の取組や、民間活力による、新たな整備・管理手法も活用した公園整備・維持管理・機能更新による「みどり」のオープンスペースの確保と合わせ、「みどり」の豊かさを実感できる取組を市民と協働で進めていくことが重要です。

【さいたま新都心公園】



## 2. 基本方針・区分別主要事業

東日本の対流拠点として多様な都市機能の充実・強化を図るため、都心における基盤整備や駅周辺のまちづくりを推進していくとともに、魅力ある住環境の創造・形成のため、市街地の整備・改善及び既存ストックの活用を推進していきます。また、安全・安心の都市づくりのため、地区特性に応じた取組や市街地開発事業を推進するとともに、移動しやすい交通環境の形成のため、交通結節機能の強化や多様な交通手段を確保する施策を展開していく一方、みどりのオープンスペースの確保のため、樹林地・農地の保全・活用や公園整備等を推進し、魅力ある空間を創出していきます。

(1) 東日本の対流拠点都市にふさわしい都市機能の充実・強化を図るまちづくりを推進します。

\* ( ) 内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
1	総振 成長 創生	さいたま新都心エリア マネジメント推進事業 〔都心整備課〕	7,588 (7,588)	8,634 (8,634)	地域価値を高め持続可能なまちづくりを実現するため、さいたま新都心地区において、地元主体のエリアマネジメントを推進
2	総振 創生 倍増	東京2020大会に向けた バリアフリー化等推進 事業 〔都心整備課〕	102,753 (25,853)	75,545 (20,995)	東京2020大会に向け、さいたま新都心地区において、歩行者系サイン等の改修
3	拡大 総振 成長 創生	大宮駅グランドセント ラルステーション化構 想推進事業 〔東日本交流拠点整備 課〕	137,152 (129,382)	126,901 (119,188)	大宮駅グランドセントラルステーション化構想を実現するため、「まちづくりガイドライン案」等を含む「(仮称)GCSプラン案」を作成するとともに、事業の加速化に向けたシンポジウムを開催
4	総振 成長	氷川参道環境整備 〔氷川参道対策室〕	202,819 (28,419)	39,280 (39,280)	氷川参道の歩行者専用化実施後の課題などの対応について検討するほか、歩行者専用区間の環境向上に向けた道路整備を実施
5	総振 成長 創生	市街地再開発推進事業 〔浦和駅周辺まちづく り事務所〕	158,999 (28,509)	108,851 (30,699)	市街地再開発事業を推進するとともに、浦和西口停車場線(県庁通り)の事業用地の取得、補償等を実施
6	総振 創生	大宮駅東口公共施設再 編推進事業 〔大宮駅東口まちづく り事務所〕	17,941 (17,941)	9,502 (3,200)	「大宮駅東口周辺公共施設再編/公共施設跡地活用全体方針」に基づき、地区ごとに立ち上げたプロジェクトチームで具体的な検討を行うとともに、官民連携事業の導入に向けた調査・検討を実施

〔区分〕 新規…新規事業 拡大…拡大事業 総振…総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業  
 成長…成長加速化戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業  
 倍増…しあわせ倍増プラン2017事業

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
7	総振 成長 創生	大宮駅西口まちづくり 推進事業 〔大宮駅西口まちづく り事務所〕	899,471 (97,495)	2,760,662 (191,271)	大宮駅西口の未整備地区について、狭あい道路の解消や居住環境の向上等の課題を解決する実現可能な基盤整備の方針を検討
8	総振 成長 創生	大宮駅西口第四土地 画整理事業 〔大宮駅西口まちづく り事務所〕	1,178,000 (939,997)	1,466,000 (886,697)	業務・商業機能の集積及び都心地区にふさわしい市街地形成を図るため、建物移転や区画道路整備等の面的基盤整備を実施

(2) 風格や賑わいを創出させる魅力あるまちづくりを推進します。

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
9	総振 成長	与野本町駅周辺地区ま ちづくり事業 〔まちづくり総務課〕	11,464 (0)	11,413 (0)	与野本町駅周辺地区まちづくりマスタープランに掲げた中央区役所周辺の公共施設再編や与野本町駅周辺の利便性向上を検討
10	拡大 総振 成長 創生	浦和東部・岩槻南部地 域整備推進事業 〔浦和東部まちづくり 事務所〕	429,585 (39,552)	96,779 (51,389)	「公民+学」の連携による新たな賑わいの創出に向け、新たに大門上池調節池底面の広場を整備するとともに、交通環境改善に向けたシャトルバス優先化等の取組や、魅力ある街並みへ誘導するためのガイドラインを策定
11	総振 成長	与野本町駅周辺地区ま ちづくり事業 〔与野まちづくり事務 所〕	19,335 (19,335)	8,519 (0)	「歴史を伝える本町通りのまちづくり」を推進するため、歩行者などの安全性を高める取組の検討を実施
12	総振 成長 創生	まちづくり推進事業 (岩槻まちづくり事務 所) 〔岩槻まちづくり事務 所〕	161,087 (0)	13,025 (0)	岩槻まちづくりマスタープランに基づき、歴史的・文化的資源を生かしたまちづくりを推進

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業  
 倍増…しあわせ倍増プラン2017事業

総振…総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業  
 成長…成長加速化戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

(3) 災害に強い都市環境整備を効率的・効果的に推進します。

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
13	総振 成長 創生	防災都市づくり計画推 進事業 〔都市総務課〕	10,131 (8,031)	12,004 (8,714)	防災を明確に意識した都市づくりのため、災 害リスクの改善・軽減に向けた施策を検討す るとともに、具体施策を効果的・効率的に進 める社会資本整備に関する計画等を推進
14	総振 成長	組合施行等土地区画整 理支援事業 〔区画整理支援課〕	12,173,374 (561,297)	14,642,629 (442,366)	健全な市街地を形成するため、組合が行う土 地区画整理事業に対して補助金を交付
15	総振 成長 創生	西大宮駅周辺まちづく り推進事業 〔日進・指扇周辺まち づくり事務所〕	17,477 (17,477)	9,213 (9,213)	指扇土地区画整理事業を推進するため、「ア クセス道路」の整備を推進
16	総振 成長 創生	浦和東部第一特定土地 区画整理事業 〔浦和東部まちづくり 事務所〕	1,649,000 (47,132)	2,209,000 (799,057)	副都心にふさわしい魅力ある市街地を形成す るため、建物移転や宅地造成、都市計画道路 などの基盤整備を推進
17	総振 成長 創生	大門下野田特定土地 区画整理事業 〔浦和東部まちづくり 事務所〕	81,000 (76,998)	188,000 (139,998)	魅力ある住環境を形成するため、道路などの 基盤整備を推進
18	総振 成長	東浦和第二土地区画 整理事業 〔東浦和まちづくり事 務所〕	1,581,000 (955,728)	1,775,000 (1,004,768)	健全で良好な市街地を形成するため、上下水 道や道路などの基盤整備を推進
19	総振 成長 創生	武蔵浦和駅周辺地区ま ちづくり推進事業 〔浦和西部まちづくり 事務所〕	2,300 (2,300)	7,400 (7,400)	副都心にふさわしい魅力ある市街地を形成す るため、地権者を対象とした勉強会などを実 施
20	総振 成長	与野駅西口土地区画整 理事業 〔与野まちづくり事務 所〕	441,998 (35,167)	69,958 (18,860)	健全かつ良好な居住環境を形成するため、建 物移転や道路などの基盤整備を推進

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業  
倍増…しあわせ倍増プラン2017事業

総振…総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業  
成長…成長加速化戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

\*( )内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
21	総振 成長	南与野駅西口土地区画 整理事業 〔与野まちづくり事務 所〕	574,000 (364,544)	1,367,000 (380,695)	良好な市街地を形成するため、建物移転や道 路などの基盤整備を推進
22	総振 成長 創生	岩槻駅西口土地区画整 理事業 〔岩槻まちづくり事務 所〕	452,205 (31,980)	414,881 (81,663)	岩槻駅西口の商業活性化と潤いのある住環境 を形成するため、建物移転や道路などの基盤 整備を推進
23	総振 成長 創生	江川土地区画整理事業 〔岩槻まちづくり事務 所〕	159,000 (158,928)	131,000 (130,948)	良好な市街地を形成するため、調整池排水機 場の設計や都市計画道路の舗装修繕などを実 施

(4) 誰もが使いやすく移動しやすい交通環境を形成するまちづくりを推進します。

\*( )内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
24	総振	都市計画道路見直し事 業 〔都市計画課〕	9,451 (9,451)	13,190 (13,190)	「さいたま市道路網計画」において類型化し た未整備の都市計画道路について、事業課や 地元等の要請により、関係権利者の合意形成 を図りながら、都市計画の変更手続きに着手
25	総振 成長 創生	地域公共交通施策検討 調査業務 〔交通政策課〕	7,864 (7,864)	8,059 (8,059)	地域公共交通協議会において、地域公共交 通網形成計画を策定するとともに、東西交通 大宮ルートにおける課題について検討
26	総振 創生	長距離バスターミナル 整備事業 〔交通政策課〕	451,606 (132,006)	130,027 (130,027)	長距離バスターミナル暫定施設(ターミナル 施設、シェルター等)の整備を実施
27	総振 増 創生	さいたまは一と推進事 業 〔自転車まちづくり推 進課〕	73,640 (71,951)	69,597 (66,029)	さいたま自転車まちづくりプラン~さいたま は一と~に基づき、さいたま市サイクルパー ク構想を検討するとともに、シェアサイクル ポートの設置拡大に向けた調査検討等を実施
28	総振	七里駅舎改修事業 〔区画整理支援課〕	2,416 (2,416)	36,152 (36,152)	七里駅橋上駅舎化及び南北自由通路の整備を 進め、地域の利便性や安全性を向上

〔区分〕新規…新規事業 拡大…拡大事業  
増…しあわせ増プラン2017事業総振…総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業  
成長…成長加速化戦略事業 創生…まち・ひと・しごと創生総合戦略事業

(5) さいたま市らしい豊かな自然環境の保全・活用と身近な緑の空間の創出を推進します。

\* ( )内は一般財源

(単位:千円)

No.	区分	事業名	元年度	前年度	説明
29	総振 倍增 創生	身近な公園整備事業 〔都市公園課〕	514,783 (142,333)	1,251,364 (216,164)	都市公園の適正な配置・整備に向けて、公園が不足する地域を重点に、歩いて行ける身近な公園を整備
30	総振 創生	自然環境を形成している緑地の保全整備事業 〔みどり推進課〕	474,619 (198,515)	544,004 (210,800)	オープン型・クローズ型緑地の保全事業、緑地保全ボランティア活動の推進により、良好な自然環境を有する緑地の保全を推進
31	総振 倍增 成長 創生	見沼田圃基本計画の推進と新たな活用 〔見沼田圃政策推進室〕	47,504 (35,704)	48,636 (37,736)	「農・自然・歴史とふれあう、憩いのふるさと“みぬま”」を実現するために、見沼田圃基本計画アクションプランに基づき、(仮称)三崎広場を整備するとともに、ガイドブック等による情報発信力を強化

[区分] 新規 … 新規事業 拡大 … 拡大事業 総振 … 総合振興計画後期基本計画後期実施計画事業  
 倍增 … しあわせ倍增プラン2017事業 成長 … 成長加速化戦略事業 創生 … まち・ひと・しごと創生総合戦略事業



### 3. 見直し事業一覧

(単位：千円)

課名	見直し事業名	見直しの理由及び内容 (代替事業等があれば記載)	コスト 削減額
自転車まちづくり推進課	消耗品費の見直し	プリンタトナー等の購入量について、昨年度の実績に基づき、予算額を縮小する。	△ 129
自転車まちづくり推進課	印刷製本費の見直し	印刷物について、放置自転車台数が減少傾向であるため、予算額を縮小する。	△ 140
自転車まちづくり推進課	通信運搬費の見直し	自転車引取通知書用葉書の購入量について、放置自転車の撤去台数が減少したため、予算額を縮小する。	△ 45
自転車まちづくり推進課	使用料の見直し	コピー使用枚数について、昨年度の実績を踏まえ、予算額を縮小する。	△ 1
みどり推進課	補助金・助成金の見直し	(公財)さいたま市公園緑地協会に対する補助金、みどりの街並みづくり助成金について、過去の実績を踏まえ、予算額を縮小する。	△ 2,380
みどり推進課	報償費の見直し	緑のカーテン講習会について、開催回数の見直しを行い、予算額を縮小する。	△ 12
みどり推進課	消耗品費の見直し	記念樹贈呈事業における苗木について、過去の配布実績を踏まえ、予算額を縮小する。	△ 247
みどり推進課	印刷製本費の見直し	印刷製本費について、在庫対応が可能な印刷物を精査し、予算額を縮小する。	△ 277
みどり推進課	光熱水費の見直し	花いっぱい運動における市民花壇水道料について、過去の実績を踏まえ、予算額を縮小する。	△ 30
みどり推進課	業務委託費の見直し	みどりの功労賞のパンフレット作成に係る業務委託について、庁内印刷で対応することとしたため、予算額を縮小する。	△ 161
みどり推進課	使用料の見直し	講習会等会場について、有料施設から無料施設に変更することにより、予算額を縮小する。	△ 151
まちづくり総務課	消耗品費の見直し	消耗品費について、過去の実績を踏まえ、予算額を縮小する。	△ 15
まちづくり総務課	旅費の見直し	旅費について、過去の実績を踏まえ、予算額を縮小する。	△ 17
まちづくり総務課	業務委託の廃止	まちづくり支援制度の内容を見直したことにより、まちづくりセミナーを廃止する。	△ 3,392
市街地整備課	旅費の見直し	旅費について、研修参加人数を見直したことにより、予算額を縮小する。	△ 58
浦和西部まちづくり事務所	研修会参加費の見直し	研修参加費について、参加する研修会を見直すことにより、予算額を縮小する。	△ 14
日進・指扇周辺まちづくり事務所	業務委託の廃止	日進駅周辺まちづくりワークショップ業務について、委託せず実施可能であることから、事業は継続するが、予算計上を廃止する。	△ 1,955
浦和駅周辺まちづくり事務所	消耗品費の見直し	消耗品の購入について、内容を精査することで、予算額を縮小する。	△ 74
浦和駅周辺まちづくり事務所	燃料費の見直し	燃料費について、過去の実績を踏まえ、予算額を縮小する。	△ 17
大宮駅西口まちづくり事務所	報償費の見直し	都市計画道路事業における境界立会について、過去の実績から支払対象人数を見直し、予算額を縮小する。	△ 125